

6 . 単元指導計画

【単元の目標】

- 〔関心・意欲・態度〕 乗法の意味を知り、日常生活において適用しようとする。
- 〔数学的な考え方〕 ある数量の大きさを、基準とする大きさのいくつ分としてとらえることができ、乗法の意味を理解する。
- 〔表現・処理〕 2の段、5の段、3の段、4の段の九九の構成のしかたや唱え方を知り、乗法九九を適用して問題を解決することができる。
- 〔知識・理解〕 乗法の式表示や用語について理解する。
「ばい」という用語と意味を理解し、用いることができる。

1時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	2とび、5とびで数えたり、累加計算したりして答えを求め、説明を書くことができる。	
評価基準	本単元の目標を持つことができる。	
問題	プレテスト	
課題		
まとめ		
2・3時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	ボートに乗っている人数と、ゴーカートに乗っている人数を調べたり、具体物を用いて違いを考える中で、「1つ分の大きさのいくつ分」という意味を理解する。	具体的な場面を調べたり、具体物を用いたりして、「1つ分の大きさのいくつ分」という意味を理解する。
評価基準	全体の数量を基準とする大きさのいくつ分としてとらえることができる。	全体の数量を基準とする大きさのいくつ分と表現できる。
問題	乗り物に乗っている人の数を調べましょう	
課題	ボートとゴーカートでは、どんな違いがあるかをお話しよう。	乗り物に乗っている人の数をくわしく説明しよう。
まとめ	同じ数同士は、まとめて数えることができます。	
4時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	「一つ分」×「いくつ分」＝「全部の数」という乗法の式に表す方法を知る。	乗法の意味をとらえ、乗法の式に表す方法を知る。
評価基準	乗法の場面を式に表すことができる。	乗法の式は同数のものがいくつあるときに用いることが分かる。
問題	みかんはぜんぶでなんこあるでしょう。	
課題	かけ算の式の立て方を覚えよう。	調べた人数の言い方をかけ算にしよう。
まとめ	一つ分の数×いくつ分の数＝全部の数になります。これをかけ算といいます。	
5時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	乗法の立式が確実にできるようになるとともに、乗法の答えは加法（同数累加）によって求められることを理解する。	
評価基準	乗法の式の意味をもとに、その答えは既習の加法を用いて求めることができると考える。	
問題	ドーナツが3こずつ入ったパックが4つあります。ドーナツはぜんぶでなんこでしょう。	
課題	3×4の答えの出し方を考えよう。	
まとめ	3×4の答えは、3+3+3+3の計算でもとめることができます。	

6時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	乗法の式で表すことができるのは、同じ数ずつあるものがいくつある時だということを確認し、具体的な場面を乗法の式に表すことができる。	具体的な場面において、同じ数ずつあるものをさがし、乗法の式に表すことの理解を深める。
評価基準	ものの個数をとらえるときに進んで乗法を用いようとする。	
問題	同じ数ずつのものを探してかけ算の式にかきましょう。	
課題	かけ算の式にできるものを見つけ、式で表そう。	同じ数ずつのものをかけ算の式で表そう。
まとめ		
7時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	1つ分の大きさが2のとき、それがいくつ分集まったものかを考え、全体の数を求める活動を通して2の段の九九を構成することができる。また、「九九」の用語と、その意味が理解できる。	1つ分の大きさが2のとき、そのいくつ分について全体の数を求め、2の段の九九を構成することができる。また、「九九」の用語と、その意味が理解できる。
評価基準	2の段の九九を構成することができる。	「九九」の用語と、その意味が分かる。
問題	ケーキを1さらに2こずつのせます。6さらぶんでは、なんこでしょう。	
課題	1皿分から式を書いて、じゆんに答えを求めよう。	2の段の九九の答えを求めよう。
まとめ	2× のかけ算を「2の段」といいます。2の段の九九は、答えが2ずつふえていきます。	2の段の九九は、答えが2ずつふえていきます。
8時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	2の段の九九の唱え方を知り、間違えずに順に唱えることができたり、適用したりすることができる。	2の段の九九の唱え方を知り、正しく、早く、順番を入れ替えても唱えることができたり、適用したりすることができる。
評価基準	2の段の九九を唱え方がわかる。	2の段の九九を唱えることや、それを適用して問題を解決することができる。
問題	2の段の九九をおぼえましょう。	
課題	2の段の九九を正しく唱えられるようになるう。	2の段の九九を正しく、早く唱えられるようになるう。
まとめ		
9時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	一つ分の数が5のかけ算を5の段ということを知り、5のいくつ分かの大きさを捉え、5の段の九九を構成することができる。	5のいくつ分かの大きさを求めて、5の段の九九を構成することができる。
評価基準	5の段の九九を構成することができる。	
問題	クッキーが1ふくろに5個ずつ入っています。7袋分では何個でしょう。	
課題	5の段の九九の答えの求め方を考えよう。	
まとめ	五の段の九九は、答えが5ずつふえていきます。	
10時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	5の段の九九の唱え方を知り、間違えずに順に唱えることができたり、適用したりすることができる。	5の段の九九の唱え方を知り、正しく、早く、順番を入れ替えても唱えることができたり、適用したりすることができる。
評価基準	5の段の九九を唱え方がわかる。	5の段の九九を唱えることや、それを適用して問題を解決することができる。
問題	5の段の九九をおぼえましょう	
課題	5の段の九九を正しく唱えられるようになるう。	5の段の九九を正しく、早く唱えられるようになるう。
まとめ		

11時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	一つ分の数が3のかけ算を3の段ということを知り、3のいくつ分かの大きさを捉え、3の段の九九を構成することができる。また、「かけられる数」「かける数」の用語を知り、それらの意味が理解できる。	3のいくつ分かの大きさを求めて、3の段の九九を構成することができる。また、「かけられる数」「かける数」の用語を知り、それらの意味が理解できる。
評価基準	3の段の九九では、乗数が1ふえると答えが3ふえることや、「かけられる数」「かける数」の用語とそれらの意味がわかる。	3の段の九九では、乗数が1ふえると答えが3ふえることや、「かけられる数」「かける数」の用語とそれらの意味がわかる。
問題	1そうのボートに3人ずつ乗ります。ボートが1そう、2そう、3そう、4そうのとき、乗れる人の数を順に求めましょう。	
課題	3の段の九九の答えの求め方を考えよう。	
まとめ	三の段の九九は、答えが3ずつふえていきます。	
12時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	3の段の九九の唱え方を知り、間違えずに順に唱えることができたり、適用したりすることができる。	3の段の九九の唱え方を知り、正しく、早く、順番を入れ替えても唱えることができたり、適用したりすることができる。
評価基準	3の段の九九を唱え方がわかる。	3の段の九九を唱えることや、それを適用して問題を解決することができる。
問題	3の段の九九を覚えましょう。	
課題	3の段の九九を正しく唱えられるようになるう。	3の段の九九を正しく、早く唱えられるようになるう。
まとめ		
13時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	かける数が1ふえると答えが4ふえることを活用して、4の段の九九を構成することができる。	
評価基準	乗数と積の関係を活用して、4の段の九九を構成することができる。	乗数と積の関係を活用した、4の段の九九の構成の仕方がわかる。
問題	あめがひとはこに4個ずつ入っています。1箱、2箱、3箱、4箱、5箱では、あめの数はそれぞれどこでしょう。	
課題	4の段の九九の答えの見つけ方を考えよう。	
まとめ	4の段の九九は、答えが4ずつふえていきます。	
14時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	4の段の九九の唱え方を知り、間違えずに順に唱えることができたり、適用したりすることができる。	4の段の九九の唱え方を知り、正しく、早く、順番を入れ替えても唱えることができたり、適用したりすることができる。
評価基準	4の段の九九の唱え方がわかる。	4の段の九九を唱えることや、それを適用して問題を解決することができる。
問題	4の段の九九を覚えましょう。	
課題	4の段の九九を正しく唱えられるようになるう。	4の段の九九を正しく、早く唱えられるようになるう。
まとめ		
15時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	もとにする量のいくつ分かを「ばい」で表現することを知り、その大きさを乗法の式に表すことができる。	
評価基準	1ばい、2ばい、3ばいの用語の意味が分かる。	「ばい」という用語を用いたり、乗法の式に表したりすることができる。
問題	3cmのテープの2つぶん、3つぶんの長さはそれぞれなんcmでしょう。	
課題	～の～ばいを式であらわし、答えを求めよう。	
まとめ	3cmの2倍のもつめかたは、 $3 \times 2 = 6$ です。一つ分の数のことを「1ばい」といいます。	

16時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	練習問題に取り組み、かけ算2～5の段の習熟を確認することができる。	
評価基準	自分の得意・不得意を知ることができる。	
問題	れんしゅう(P26)	
課題	2～5の段のかけ算の問題を正しくできるようになる。	
まとめ		
17時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	2～5の段の九九を1つの表にし、これらの乗法九九の答えの並び方にどんなきまりがあるかを見つけ、乗法九九の理解を深める。	
評価基準	2～5の段の九九を1つの表に表すことができる。	2～5の段の九九の答えの並び方のきまりがいくつ分かる。
問題	やってみよう(P28)	
課題	2～5の段のかけ算九九表をつくろう。	
まとめ		
18時	じっくりコース	どんどんコース
ねらい	習熟度を確認する。	
評価基準	自分の習熟を自己点検・自己評価する。	
問題	ポストテスト	
課題	かけ算の内容を確認しよう。	
まとめ		